

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	術前外来から入院時持参薬確認における連携の重要性 ～胃 ESD・EMR 症例を中心に～
研究責任者 (所属科名)	渡辺 篤 (薬剤部)
本研究の目的・意義	入院支援センターで行っている薬剤師による入院前の持参薬確認が副作用回避や患者様の治療参画意識の向上、外来から入院、退院へとスムーズな移行につながっているか検証する。
調査方法・調査期間	2017年1月から4月の5か月間
該当資料・データ	★対象となる患者様 調査期間中、安佐市民病院南6病棟に胃の内視鏡的粘膜下層剥離術・内視鏡的粘膜切除術目的で入院された方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、薬剤情報を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-815-5211 担当者：渡辺 篤 (薬剤部：部長)
備考	